

# 環境政策課

課長 三沢 眞二

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	環境基本計画進行管理
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み				
基本施策(個別目標)	411	低炭素社会の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略			

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	一般事務費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

環境基本計画の実施状況を調査・審議する、有識者等による審議会を開催するとともに、進行管理を行うもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 環境審議会  
環境基本条例のもと、環境審議会において計画の実施状況を調査・審議(年間4回開催)
- 環境基本計画の進行管理  
第3次松本市環境基本計画を推進するため、各部局が実施する事業の進行管理を行い施策に反映
- 職員研修  
環境行政を担う人材育成の一環として、環境省環境調査研修所が実施する研修会等に参加

＜現状に対する認識＞

- 計画を効果的に進めるため、市民・事業者・行政が連携し積極的に取り組む必要がある。
- 各部局が進める環境施策の具体的な事業内容を把握し、PDCAサイクルによる適切な進行管理を継続して行う。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	環境基本計画の指標61項目のうち、目標の70%以上達成している項目数				
目標値	48	48	48	48	48
実績値	49				
達成度	102.1%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	378				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	378				
② 人件費(千円)	6152	人工	人工	人工	人工
正規	6152	0.8			
嘱託	0				
合計コスト①+②	6,530				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	環境基本計画推進事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます	
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み	○「もったいない」をキーワードに、ごみの減量			
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H23 ~
--------	-------

環境基本計画に定める持続可能な循環型社会の構築を目指して、廃棄物の発生抑制を推進するため食品ロス削減事業等に取り組むもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 食品ロス削減事業  
あらゆる世代で「もったいない」を心がけた食品ロスを減らす取組みを進めるため、残さず食べよう！30・10運動や食品ロス削減に協力する飲食店等の認定制度、食品ロス調査、フードドライブ、もったいないクッキングレシピ集の発行などを実施  
(食品ロス調査による、生ごみの中の食品ロス量は、3年前に比べて12%減少)
- ecoオフィスまつもと認定事業  
第3次環境基本計画に定める5つの柱について事業者の取組みを推進するため、環境に配慮した取組内容に応じて評価し、ランク別に認定  
(新規認定事業所 7件、合計 15件)

<現状に対する認識>

- 世界的課題でもある食品ロスを削減するため、市民や事業者等と連携した取組みが必要
- 家庭ごみの減量化を図るため、家庭版30・10運動の啓発を重点的に実施することが必要
- 国等の協力を得ながら、松本から情報発信し浸透・拡大を図る。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	残さず食べよう！推進店・事業所登録数					
	目標値	100	150	175	200	225
	実績値	111				
	達成度	111.0%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	7,894				
	国・県	1,429			
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	6,465			
② 人件費(千円)	8,459	人工	人工	人工	人工
	正規	8,459	1.1		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	16,353				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	環境基本計画推進事業(環境教育)
-------	------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	413	環境教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

市民の環境保全意識を高めるため、地域の環境資源を活用した自然観察会や学習会、小中学校での環境学習、園児や小学生を対象とした参加型環境教育などを実施するなど環境負荷軽減に向けた活動を拡大するもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 参加型環境教育事業  
園児と小学校3年生を対象に、ごみの分別や食べ物の「もったいない」をテーマにクイズ形式の参加型環境教育を実施  
(小学校実施数 28校 ※2校はH27に実施済み)
- エコスクール事業  
幅広い世代が参加できるように、自然体験や環境保全をテーマとした環境講座を実施  
(講座開催数 19回)
- 小中学校環境教育支援事業  
環境教育分野の専門性を有する企業・団体・個人を講師とする環境教育プログラムの提供と事業実施に向けた調整を行う。  
(実施校数 17校、実施回数 33回、参加人数 延べ1,985人)
- 子ども向け環境基本計画ハンドブックの配付  
小学校4年生に環境基本計画をわかりやすく解説したハンドブックを配付し、授業等で活用

＜現状に対する認識＞

- ・感受性豊かな子どもへの環境教育は重要であり、従来の講座のプログラム内容を見直すとともに、新たに中高生向けのプログラムを開発する必要がある。
- ・自然に親しむ機会を作り、環境保全への意識を高めてもらうため、市民向けの出前講座のメニューを多様化するなど、興味関心を高める工夫が必要である。

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	園児対象参加型環境教育実施園数					
目標値	46	50	55	60	64	
実績値	46					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)	エコスクール参加人数					
目標値	330	330	330	330	330	
実績値	367					
達成度	111.2%					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,353				
国・県	1,887				
利用者負担金					
その他					
一般財源	466				
② 人件費(千円)	12,761	人工	人工	人工	人工
正規	10,766	1.4			
嘱託	1,995	0.7			
合計コスト①+②	15,114				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地球温暖化防止事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます	
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み		○新エネルギー戦略による経済と地域の活性化		
基本施策(個別目標)	411	低炭素社会の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑦	再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地球温暖化防止事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H13 ～
深刻化する地球温暖化問題に対し、再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備等の導入を促すとともに、効率的な運用によりエネルギー使用量の削減を図るため、各種施策を展開するもの。		

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 地球温暖化対策実行計画推進事業  
地球温暖化対策実行計画(平成28年度改訂版)を策定し、冊子・概要版を作成するとともに、温室効果ガス排出量推計ソフトの改良やエコネットまつもとの活動を支援
  - 再生可能エネルギー地産地消推進事業  
再生可能エネルギー地産地消推進計画を策定し、冊子・概要版を作成するとともに、再生可能エネルギーを活用した事業を検討している団体等に対し、情報提供等支援(継続的に支援した団体 4団体)
  - 温暖化対策に資する補助金の交付  
住宅用太陽光発電システムや蓄電池の設置補助、EV車の購入補助(交付実績 太陽光発電388件、蓄電池41件、EV車2件)
  - 松本市役所エコオフィスプラン進行管理  
一事業所として市役所の事務事業における温室効果ガス排出量を計画的に削減するため、各課の排出量や環境への取組みを把握し、指導を実施
  - 木質バイオマス熱利用推進事業  
市施設にチップボイラーを導入するための可能性調査(5施設)を実施するとともに、燃料供給体制について検討(2施設が導入可能と評価)

＜現状に対する認識＞

- 再エネの事業化支援のための「パートナーシップ推進組織」の立上げや、「収益納付型補助金」の制度化を進める必要がある。
- 本庁舎、市立病院、博物館の建替えをはじめ、市施設の設備更新にあわせた低炭素化を積極的に進める必要がある。
- 地球温暖化の取組みを広く周知・啓発する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	再生可能エネルギーによる最大出力(固定価格買取制度導入容量)(kW)				
目標値	82,474	90,356	98,237	106,119	114,000
実績値	86,862				
達成度	105.3%				
② 成果指標(指標名)	再生可能エネルギーを活用して事業を興す事業者				
目標値	0	1	2	3	4
実績値	0				
達成度					

＜コスト一覧＞	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	46,637				
国・県	1,501				
利用者負担金					
その他					
一般財源	45,136				
② 人件費(千円)	24,608	人工	人工	人工	人工
正規	24,608	3.2			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	71,245				
前年度比	—				

事務事業評価票

作成日 平成29年9月21日

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	清掃業務管理(松塩地区広域施設組合負担金)
-------	-----------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	清掃業務管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	8 積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
主な取組み		〇「もったいない」をキーワードに、ごみの減量
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度

～

一般廃棄物処理施設の維持管理と廃棄物の適正処理のため、松塩地区広域施設組合に分担金を支出するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本クリーンセンター、あずさセンター、余熱利用施設(ラーラ松本)等の管理・運営業務料として、負担金を支払う。

【28年度年間実績】

- ・松本クリーンセンターごみ搬入量(松本市分、可燃ごみのみ)  
78,306.41トン
- ・あずさセンターし尿等投入量(松本市分)  
9,603.2キロリットル
- ・ラーラ松本利用者数  
426,098人

<現状に対する認識>

・ごみの減量化と生活排水の適正な管理を行うため、組合と連携して施策を進める。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,011,556				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,011,556				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	1,012,325				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8 積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち		主な取組み	○「もったいない」をキーワードに、ごみの減量
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H25～
「もったいない」をキーワードにごみの減量化を図るため、子ども服や食器などのリユース・リサイクルを推進するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 松本キッズ・リユースひろば事業 使用期間の短い子ども服や育児用品を回収し、必要な子育て世帯に無料配付する。 (配付会を年間8回開催、延べ約1,600世帯が参加)
2 不用食器リサイクル事業 市民との協働により、家庭で不用になった食器を回収し、状態の良いものは無料で配布するリユースを行い、その他のものは新しい製品の原材料としてリサイクルを行う不用食器リサイクル事業を実施し、市の役割として回収食器の運搬及び資源化費の負担並びに事業のPR等を行う。 (食器の年間再資源化量 約12.4トン)
3 剪定枝等再資源化事業 公共施設等から排出される剪定枝等について、従来まで松本クリーンセンターにおいて焼却処分されていたものを、チップ化し、バイオマス発電の燃料及びセメントの原料として活用 (年間再資源化量 約857.7トン)

＜現状に対する認識＞
・キッズ・リユースひろば事業の安定的な継続を図るためには、市民団体等による運営方法を検討する必要がある。 ・剪定枝のリサイクルは公共施設だけではなく、民間へ広げていくことを検討する。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	キッズ・リユースひろば事業リユース品年間配付点数				
目標値	24,000	24,800	25,600	26,400	27,200
実績値	27,000				
達成度	112.5%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	15,676					
国・県	2,368					
利用者負担金						
その他						
一般財源	13,308					
② 人件費(千円)	4,899	人工	人工	人工	人工	
正規	4,614	0.6				
嘱託	285	0.1				
合計コスト①+②	20,575					
前年度比	—					

# 環境保全課

課長 松田 佳子



事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	事務管理(島内小公園管理)
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	事務管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

環境改善事業で整備した公園であり、同和地区を中心とした周辺住民の憩いの場とするため管理を行うもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

光熱水費、土地借上料の支出

＜現状に対する認識＞

・事業の性質上、また立地上利用者が限られるが、地区にとっては必要な公園のため、適正な管理に努める。

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	469				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	469				
② 人件費(千円)	154	人工	人工	人工	人工
	154	0.02			
	0				
合計コスト①+②	623				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	地下水対策事業
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地下水対策事業

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	S60～
地下水の保全の基礎資料にするため、地下水の水位を継続監視するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 市所有の3カ所(清水、島立、今井)の観測井で地下水位を365日24時間連続測定
2 観測記録の集計整理 各井戸で測定した結果を集計、解析し、地下水保全対策の基礎資料とする。

＜現状に対する認識＞
・主に都市化を原因とする地下水のかん養量の減少により1990年代中頃まで地下水位の低下が続いたが、それ以降はほぼ横ばい
・地下水の保全に欠かせない常時観測であり、その結果を11市町村と県とで組織する「アルプス地域地下水保全対策協議会」で共有している。集計結果は流域全体にとっても健全な水循環を維持する施策の重要な基礎資料として役立っている。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	399					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	399					
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3				
嘱託	0					
合計コスト①+②	2,706					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	家庭雑排水対策
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	家庭雑排水対策費

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
公共用水域の水質保全のため、家庭雑排水の適正処理を推進する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 合併処理浄化槽設置整備事業 公共下水道処理区域外地域を対象に、合併処理浄化槽の設置に対し補助金を交付するもの。公共下水道に接続する場合と比較して合併浄化槽を設置した世帯の負担が高くないように、国、県、市で補助するもの
2 合併処理浄化槽清掃事業 法令で定められた浄化槽清掃を行う者に対し、年1回に限り補助金を交付するもの設置と同様に公共下水道接続施設の世帯と比較した場合の経済的負担を軽減するもの
3 家庭雑排水簡易浄化槽汚泥清掃事業 家庭雑排水収集・運搬許可業者に補助を行い、市民の収集・運搬料金負担を軽減するもの

＜現状に対する認識＞
・家庭雑排水の適正処理をより推進するため、今後も事業を継続していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	水洗化率				
目標値	98.1%				
実績値	98.7%				
達成度	100.6%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	13,631					
国・県	4,720					
利用者負担金	0					
その他	0					
一般財源	8,911					
② 人件費(千円)	3,691	人工	人工	人工	人工	
正規	3,691	0.48				
嘱託	0					
合計コスト①+②	17,322					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	四賀地域排水施設管理
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀地域排水施設管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

公共下水道処理区域外における、公共用水域の水質保全のため。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 四賀第2・第3浄化施設維持管理事業  
 四賀地区で宅地分譲した団地の汚水を適正に集合処理するため、大型の合併処理浄化維持管理を行うもの

＜現状に対する認識＞

・汚水を適正処理するため、今後も事業を継続していく。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	施設利用率				
目標値	100.0%				
実績値	100.0%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,704				
国・県	0				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	1,704				
② 人件費(千円)	385	人工	人工	人工	人工
正規	385	0.05			
嘱託	0				
合計コスト①+②	2,089				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(長野県合併処理浄化槽普及促進協議会)
-------	------------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>	事業計画年度	～
合併処理浄化槽の設置を推進するため、行政機関で構成する団体の一員として合併処理浄化槽の普及・啓発活動を実施するもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
1 合併処理浄化槽に関する知識の普及を目的とした研修会に出席するもの
2 長野県合併処理浄化槽普及促進協議会で作成した浄化槽整備事業に関する手引書を参考にするもの

<現状に対する認識>
・合併処理浄化槽の設置を推進するため、今後も活動を継続していく。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	水洗化率				
目標値	98.1%				
実績値	98.7%				
達成度	100.6%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	41				
国・県	0				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	41				
② 人件費(千円)	77	人工	人工	人工	人工
正規	77	0.01			
嘱託	0				
合計コスト①+②	118				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	畜犬登録事務
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	畜犬登録事務費

<事業の狙い>	事業計画年度	～
狂犬病のまん延を防ぐこと目的とするもの。また、ペットの適正飼養についての啓発を行うもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
1 狂犬病予防法に基づく畜犬の登録管理及び狂犬病予防注射を実施するもの。未登録犬や注射の未実施犬に対するの対応を行うもの 2 ペットの適正飼育について指導、啓発を行うこと。 3 災害発生時のペットの同行避難を啓発するもの

<現状に対する認識>
・犬の登録率の向上、狂犬病予防注射の接種率向上に努める。

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,538				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,538				
② 人件費(千円)	5,383	人工	人工	人工	人工
正規	5,383	0.7			
嘱託	0				
合計コスト①+②	7,921				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域ねこ管理活動支援事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地域ねこ管理活動支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	~
地域で抱える飼い主のいない猫に起因する問題の解決と、保健所における猫の引取頭数及び殺処分頭数の減少を目的とするもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 飼い主のいない猫の増加を防止し、市民の生活環境の保持及び動物愛護思想についての啓発を図るため、地域猫に去勢手術または不妊手術を受けさせるボランティア団体に対し、補助金を交付するもの
- 飼い主のいない猫の増加に伴うトラブルを減少させるため補助を交付するもの

<現状に対する認識>

・飼い主のいない猫に起因するご近所トラブルは、地域猫の指定地域外で発生している。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	まちなかにゴミが落ちていないなど、衛生的である					
目標値	3	3	3	3	3	
実績値	2.95					
達成度	98.3%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,820				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,820				
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	0				
合計コスト①+②	4,127				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(公衆浴場経営安定化事業)
-------	------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
公衆浴場の経営の安定化を促進し、公衆衛生の向上に資するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 公衆浴場業を営む者で、経営の不安定な営業者の直接経営に要する経費に対し、補助を行うもの
2 入浴者数に応じて補助を行う補助事業 (平成29年度からは営業日数を考慮した補助内容に変更) 平成28年度実績・・・9浴場について補助
3 基幹設備、ふれあい施設の設備改善に対して行う補助事業(県からも補助) 平成28年度実績・・・5浴場について補助

＜現状に対する認識＞
・市内9浴場に対して、経営安定化のために補助を継続していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	7,291				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	7,291				
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	9,598				
前年度比	—				



事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	管理不全空き家等対策
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	管理不全空き家等対策費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H26～
「松本市空き家等の適正管理に関する条例」及び「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、管理が不十分な空き家・空き地に対して、所有者等に適切な管理を促し、松本らしい安全で安心な魅力あるまちづくりを進めるもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 管理不全空き家等の適正管理助言・指導 隣の空き家の草木が繁茂して困っているなどの相談を受け、空き家の所有者を探し、所有者等に対し適正な管理を促すための助言・指導をするもの (管理不全な空家に対する、市民からの相談対応件数 35件) (そのうち、草木の刈取り等、空き家の管理不全が解決した数 21件)
2 所有者からの空き家の利活用、処分方法についての電話相談 (53件)

＜現状に対する認識＞
・空き家の所有者等に連絡が取れない、所有者が不明、相続人等の不存在的な案件が多く、対応に苦慮している。
・他部局との連携、あるいは各種団体、専門家との連携を図り、総合的な対策が必要と考える。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)		1				
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源		1				
② 人件費(千円)		8,844	人工	人工	人工	人工
正規		8,844	1.15			
嘱託		0				
合計コスト①+②		8,845				
前年度比		—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	環境衛生指導
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	環境衛生指導費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

身近な地域を流れる河川の美化・浄化を推進するため、市民との協働を進める。また、河川をきれいにする会の自主的活動の充実を図る。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 年2回の「河川をきれいにする会」による18河川一斉清掃の支援。各河川の清掃や総会開催等の事務の補助をするもの
- 中心街を流れる女鳥羽川の清掃委託業務や堰清掃委託業務を行い、河川美化を行うもの
- 特定外来生物の周知を図るもの

＜現状に対する認識＞

- 身近な河川の美化活動を継続して支援するもの

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	河川美化活動参加のべ人数				
目標値	29,000	30,000	31,000	32,000	32,300
実績値	28,920				
達成度	99.7%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,934				
国・県	0				
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,934				
② 人件費(千円)	5,383	人工	人工	人工	人工
正規	5,383	0.7			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	10,317				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	葬祭センター管理運営
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	葬祭センター管理運営費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

松本市営葬祭センターの効率的運営のため、導入している指定管理に関する事務及び施設の改修、更新工事を行うもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 年間人体火葬件数	2,582件(死産児、胞衣を含む。)
2 動物火葬件数	1,331件

＜現状に対する認識＞

- 市内の火葬需要には、ほぼ応えている。
- また、指定管理者制度を導入し、効率的な運営を行っている。

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県				
	利用者負担金	35,678			
	その他				
	一般財源	95,175			
② 人件費(千円)	1,154	人工		人工	
	正規	1,154	0.15		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	132,007				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	蟻ヶ崎西区公民館管理運営
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	蟻ヶ崎西区公民館管理運営費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
松本市営葬祭センター所在の町会に対して無償貸付を行っている公民館施設の管理運営に関することを町会と協議しながら行うもの	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 消防施設点検 2回
2 屋根塗装工事
3 入口鉄板取替工事
4 市長との懇談会 2回(平成27年度延期分を含む。)
5 その他施設に関して不都合が生じた際に公民館に出向こと随時

＜現状に対する認識＞

・ 葬祭センター所在の町会から施設運営に関し協力を得るうえでは欠かせない施設である。
--

＜指標の達成状況＞

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	指標名					
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,911				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	3,911				
② 人件費(千円)	1,154	人工	人工	人工	人工
	1,154	0.15			
	0				
嘱託					
合計コスト①+②	5,065				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	公害対策関係
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	公害対策関係費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

市民、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、水質汚濁、大気汚染などの少ない、快適な生活環境の向上をめざすもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 市内の河川や湖沼などの水質の調査 (80カ所)
- 市内の地下水の水質を把握するための調査 (16カ所)
- 水質汚濁防止法に基づく事業場への立入り  
法に定められた事業場の排水が適正処理されているかどうかを確認し、必要な場合は改善指導等をするもの (立入り件数 107件)
- 中山地区産業廃棄物処理施設周辺環境調査  
廃棄物処理施設周辺で、大気や地下水を定期的に監視 (6カ所)
- ダイオキシン類調査  
焼却炉を持つ事業場の周辺での大気中のダイオキシン類調査 (3地区 11カ所)
- 道路沿線、長野道沿線での騒音調査 (11カ所)
- 空間放射線量測定調査  
週一回、簡易型測定器で空間放射線量を測定 (5カ所 通年)
- 放射性物質濃度測定調査  
市立小学校の校庭の土壌と、井戸水の放射性物質濃度を測定(28校、井戸5カ所)

＜現状に対する認識＞

- ・法令等に基づく事業場への立入調査などを行ってきたこともあり、良好な水・大気環境が保たれ、騒音などによる公害苦情件数も減少傾向にある。
- ・引き続き、この生活環境を維持していくことが課題

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	市内河川33カ所におけるBOD2mg/L未満の箇所の割合(%)				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	100				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	15,771				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	15,771				
② 人件費(千円)	26,531	人工	人工	人工	人工
正規	26,531	3.45			
嘱託	0				
合計コスト①+②	42,302				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(安曇野松筑広域環境施設組合)
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>	事業計画年度	～
2市4村で共同処理を行っている一部事務組合所管の広域豊科葬祭センターの管理運営に要する経費のうち松本市負担金の支出を行うもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
1 議会 2回、理事者会 2回、課長会議 3回
2 火葬実績
(1) 人体火葬件数 189件
(2) 動物火葬件数 261件

<現状に対する認識>
・ 松本市営葬祭センターを補完する施設として重要である。

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	22,979				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	22,979				
② 人件費(千円)	1,923	人工	人工	人工	人工
正規	1,923	0.25			
嘱託	0				
合計コスト①+②	24,902				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	一般事務
-------	------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	一般事務費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
市長公約	主な取組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

環境省環境調査研修所等が主催する各種研修会を受講し、職員の資質を高めるもの  
また、自治体が加盟する協議会に参加し、国等へ働きかけるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 騒音・振動防止研修等参加  
環境省の研修所や長野県の環境保全研究所が主催する公害防止研修に参加し、公害規制法令事務の確実な実施に努め、公害防止に役立てるもの(参加回数 6回)
- 公害関係会議等参加  
水質汚濁防止法事務に係る説明会や、公害苦情に係る会議に参加し、公害規制法令事務の確実な実施に努め、公害防止に役立てるもの(4回)
- 信濃川水域関係会議等参加  
水域全体での水質調査計画立案等に参加し、全体での水質の把握をするもの(参加回数 2回)
- 信濃川を守る協議会松本ブロック負担金等  
信濃川流域内の自治体や機関で構成する協議会等に参加し、水質汚濁事故の未然防止や事故時の緊急体制を充実させるもの。(負担金 3件)

<現状に対する認識>

・環境調査や公害苦情処理、生物多様性の保全には専門的な知識が必要であるため、各種研修は重要で、職員の資質の向上に役立っている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	324				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	324				
② 人件費(千円)	1,154	人工	人工	人工	人工
正規	1,154	0.15			
嘱託	0				
合計コスト①+②	1,478				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	生物多様性保全事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8 積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	快適な生活環境を育むまち		主な取組み	○生物の多様性を考慮した自然環境の保全
基本施策(個別目標)	423	生物多様性保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	生物多様性保全事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H28～
--------	------

生きものの恵みを将来世代も受け取れるよう、松本市生物多様性地域戦略「生きものあふれる松本プラン」の基本方針である「学習し、広める」「想像し、考える」「実践し、活かす」に沿って生物多様性の保全を推進し、多様な環境に育まれた、生きものあふれる豊かな自然の維持と再生をめざすもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 奈川地区のゴマシジミ生息調査  
希少種保護活動の支援として、6月から9月にかけて、種の保存法により国内野生希少動植物種に指定されているゴマシジミの生息調査を実施（13カ所）
- 生物多様性エコスクール  
夏休みの時期を中心に、小中学生親子を対象に、事前学習会を含めて環境学習会、自然観察会を開催（5回 延べ96人参加）

＜現状に対する認識＞

- 本市には、様々な生きものが共生して豊かな生態系が形成されてきたが、そうした「生物多様性」が、急速に失われつつある。
- 市民一人ひとりが生物多様性の重要性を認識し、豊かな自然を将来世代に引き継いでいくことが課題

＜指標の達成状況＞

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	生物多様性の保全活動への参加人数				
目標値	6,400	6,500	6,600	6,700	6,800
実績値	7516				
達成度	117.4%				
② 成果指標(指標名)	希少種保護活動への支援箇所数				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1				
達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	98				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	98				
② 人件費(千円)	4,614	人工	人工	人工	人工
正規	4,614	0.6			
嘱託	0				
合計コスト①+②	4,712				
前年度比	—				



事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	公衆便所管理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公衆便所管理費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

公共福祉の増進を図るため、公衆便所を適正に管理する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 公衆便所管理事業  
環境保全課が管理する公衆トイレを、清掃、点検を行い市民が利用しやすいように清潔に保つもの
- 公衆便所整備事業  
環境保全課が管理する公衆トイレについて「安心」「快適」「親しみ」を基本方針に公衆便所を整備するもの。平成28年度は、浅間温泉公衆便所の洋式化を含む改修、地元要望による餌差町公衆便所の解体

・今後も既存の公衆トイレを利用しやすく維持管理を行っていく。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	まちなかにゴミが落ちていないなど、衛生的である					
目標値	3					
実績値	2.95					
達成度	98.3%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	19,190				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	19,190				
② 人件費(千円)	3,619	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	2,850	1			
合計コスト①+②	22,809				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	し尿収集業務
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	し尿収集業務費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
し尿汲取りを適正に行い快適な生活環境を支援するもの。	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 清掃確認券発行事業  
清掃確認券を用いて、業者による適正なし尿汲取りを管理するもの  
(汲取り場所、汲取り氏名が記入された回数券)
- し尿汲取料金補助事業  
生活保護世帯や障害者世帯など、生活困窮者に対し汲取料金を全額補助するもの

＜現状に対する認識＞

・適正なし尿汲取りを行うため、今後も事業を継続していく。

＜指標の達成状況＞

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	926				
国・県	0				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	926				
② 人件費(千円)	154	人工	人工	人工	人工
正規	154	0.02			
嘱託	0				
合計コスト①+②	1,080				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	松本地区霊園管理
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	霊園
予算中事業名	松本地区霊園管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
中山霊園、蟻ヶ崎霊園及び並柳霊園の墓所管理を行うもの	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

管理する墓所数		
中山霊園	一般墓所 合葬式墳墓	9,043区画 1基
蟻ヶ崎霊園	一般墓所	2,445区画
並柳霊園	一般墓所	482区画

＜現状に対する認識＞

・ 指定管理者制度を導入し、効率的な運営を行っている。
-----------------------------

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県				
	利用者負担金	38,606			
	その他				
	一般財源				
② 人件費(千円)	人工	4,383			
	正規	4,383	0.57		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	42,989				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	西部地区霊園管理
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	霊園
予算中事業名	西部地区霊園管理費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
合併地区(奈川、梓川、波田地区)霊園の墓所管理を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

管理する墓所数		
奈川地区		
奈川霊園	一般墓所	116区画
梓川地区		
あずさがわ霊園	一般墓所	206区画
上野霊園	一般墓所	125区画
横沢霊園	一般墓所	13区画
波田地区		
さみぞ霊園	一般墓所	173区画
下原霊園	一般墓所	368区画
つつじヶ丘霊園	一般墓所	393区画

＜現状に対する認識＞

・ 奈川霊園などの遠隔地の効率的な管理のため、指定管理者制度導入を検討している。
--

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,078				
国・県					
利用者負担金	2,078				
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	2,847				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	合葬式墳墓整備事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	霊園
予算中事業名	合葬式墓地整備事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
中山霊園に整備した屋内型合葬式墳墓の管理及び新たに屋外型樹木式埋蔵場所整備に着手したもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

屋内型埋蔵場所受入可能件数 個別埋蔵 400件 共同埋蔵 400件 計 800件
屋外型樹木式埋蔵場所整備開始 設計及びマレットゴルフ場5番ホール移転実施

＜現状に対する認識＞

・ 需要を把握しながら、増設の検討をする。
-----------------------

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	合葬式墳墓使用申請件数				
目標値	650	690	730	770	800
実績値	678				
達成度	104.3%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,558				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,558				
② 人件費(千円)	3,076	人工	人工	人工	人工
正規	3,076	0.4			
嘱託	0				
合計コスト①+②	7,634				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	墓所補修整備事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	霊園
予算中事業名	墓所補修整備事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
市営墓地10カ所の補修が必要な箇所について、補修を行うもの	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

管理する墓所数		
松本地区		
中山霊園	一般墓所	9,043区画
	合葬式墳墓	1基
蟻ヶ崎霊園	一般墓所	2,445区画
並柳霊園	一般墓所	482区画
奈川地区		
奈川霊園	一般墓所	116区画
梓川地区		
あずさがわ霊園	一般墓所	206区画
上野霊園	一般墓所	125区画
横沢霊園	一般墓所	13区画
波田地区		
さみぞ霊園	一般墓所	173区画
下原霊園	一般墓所	368区画
つつじヶ丘霊園	一般墓所	393区画
上記区画の他、駐車場等附帯設備も含めた施設全般の管理		

＜現状に対する認識＞

・ 補修必要箇所を適正に把握するため、指定管理者(松本地区)、管理業務委託業者(西部地区)との密な情報交換を行う。

＜指標の達成状況＞

総合評価						
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)					
	1,497				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,497				
② 人件費(千円)					
	769	人工		人工	
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	2,266				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	中山霊園第3次造成事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	霊園
予算中事業名	中山霊園第3次造成事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
新たに墓所区画を必要とする方のために、平成13年度から着手した第3次造成地に2,178区画の墓所を整備し貸付けするもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
現在造成済みの1,024区画のうち、55区画の申込みを受け、平成28年度末現在全区画貸付け。

＜現状に対する認識＞
・一般墓所区画に対する需要の把握をしながら造成を継続する。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	中山霊園一般墓所区画数				
目標値	9,043	9,103	9,163	9,223	9,283
実績値	9,043				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	130				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	130				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	899				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	墓地管理台帳整備事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>	
会計名	霊園
予算中事業名	墓地管理台帳整備事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	~
市営霊園10カ所の霊園の使用者情報を管理するもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
市営霊園墓地管理台帳システムのリース料及び通信回線を毎月支出(平成28年度はシステムソフトの改修等がなかったため経常経費の支出のみ)

<現状に対する認識>
・墓所使用者管理を適正に行うため、数年に一度のペースでシステム改修を行い、より管理しやすいデータベースを整備する。

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	760				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	760				
② 人件費(千円)	385	人工	人工	人工	人工
正規	385	0.05			
嘱託	0				
合計コスト①+②	1,145				
前年度比	—				



事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	マレットゴルフ場整備事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	霊園
予算中事業名	マレットゴルフ場整備事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
中山霊園に整備したマレットゴルフ場27コースの整備、管理を行うもの	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

3ホールの排水改良工事を行った。
------------------

＜現状に対する認識＞

・ 地元利用団体と連絡を密に取りながら管理を行う。
---------------------------

＜指標の達成状況＞

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	成果指標(指標名)					
①	成果指標(指標名)					
	目標値					
	実績値					
	達成度					
②	成果指標(指標名)					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	648				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	648				
② 人件費(千円)	385	人工	人工	人工	人工
正規	385	0.05			
嘱託	0				
合計コスト①+②	1,033				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	不明墓所整理事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>	
会計名	霊園
予算中事業名	不明墓所整理事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	～
市営霊園10カ所の使用者が不明となった者の戸籍等の調査を行い、親族等承継者が判明した場合には、承継手続きをしてもらい、不明墓所になることを防止するもの 承継者がいない、不明等の場合には無縁墳墓と確定する手続を行うもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

霊園使用者承継	337件
無縁墳墓認定のための看板設置	7件
無縁墳墓認定	19件

<現状に対する認識>

・ 不明墓所を生まないため、戸籍調査等に努めており、現状では最低限に抑えていると思われる。
---

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	38				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	38				
② 人件費(千円)	2,850	人工	人工	人工	人工
正規	0				
嘱託	2,850	1			
合計コスト①+②	2,888				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	特定地域生活排水事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	地域排水施設
予算中事業名	特定地域生活排水事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	~
四賀地域の生活環境整備を図ること。	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 四賀戸別合併処理浄化槽維持管理及び清掃事業  
浄化槽市町村整備事業(市町村が設置主体)により設置した戸別合併処理浄化槽の維持管理等を行う。
- 特別会計であるため、事業の健全化に努める。
- 平成28年度は「松本市地域排水施設事業経営戦略」策定し、中長期にわたり、経営の安定化を図った。5年後に見直予定

<現状に対する認識>

・汚水を適正処理するため、今後も事業を継続していく。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	維持管理回数					
目標値	4					
実績値	4					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	55,830				
国・県	0				
利用者負担金	44,206				
その他	0				
一般財源	11,624				
② 人件費(千円)	3,691	人工	人工	人工	人工
正規	3,691	0.48			
嘱託	0				
合計コスト①+②	59,521				
前年度比	—				

# 環境業務課

課長 百瀬 今朝和

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	環境衛生指導
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます	
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	市長公約	主な取組み	〇「もったいない」をキーワードに、ごみの減量		
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標				
—	—	—	松本版総合戦略				

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	環境衛生指導費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市民の快適な生活環境を維持するため、環境の美化に努めるもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
「松本市ポイ捨て防止等及び環境美化に関する条例」や環境衛生協議会を通じて、ポイ捨て防止活動や環境美化活動を推進する。 不法投棄パトロール及び不法投棄物の回収を実施する。
1 平成28年度環境美化巡視委員数 499名
2 啓発運動 (1) ごみゼロ運動(開催日:5月29日、参加者:319名) (2) 散乱空き缶等追放キャンペーン(開催日:10月29日、参加者:312名)
3 不法投棄回収出動数 258回
4 不法投棄回収量 13t

＜現状に対する認識＞
・不法投の処理量は横ばいとなっている。 ・テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコンの家電4品目の不法投棄は減っているが、河川敷等のポイ捨てが目立つ。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	58,658					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	58,658					
② 人件費(千円)	88,784	人工	人工	人工	人工	
正規	77,669	10.1				
嘱託	11,115	3.9				
合計コスト①+②	147,442					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	清掃業務管理
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8 積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます		
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み	〇「もったいない」をキーワードに、ごみの減量			
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標				
—	—	—	松本版総合戦略				

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	清掃業務管理費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市民にごみ・資源物を適正に排出するよう、周知を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
ごみ・資源物が適正に排出するよう、市民へ「ごみ・資源物の収集日程表」及び「ごみの分け方・出し方」を配布し、ごみ集積所への排出方法を周知するもの
1 収集地区数 46地区
2 ごみ分別区分数 ・ 分別 5分別25区分 可燃ごみ、埋立てごみ、粗大ごみ、破碎ごみ、資源物(21区分)
3 ごみ・資源物収集日程表の印刷枚数 126,700枚
4 ごみの分け方出し方の印刷枚数 125,700枚

＜現状に対する認識＞
・町会へ加入している市民には町会をとおして「ごみ・資源物の収集日程表」及び「ごみの分け方・出し方」配布されるが、町会に加入していない市民や外国人の方にどのように情報を提供するかが課題となっている。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	9,569					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	9,569					
② 人件費(千円)	23,613	人工	人工	人工	人工	人工
正規	20,763	2.7				
嘱託	2,850	1				
合計コスト①+②	33,182					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	塵芥収集業務
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	塵芥収集業務費

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8 積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち		主な取組み	○「もったいない」をキーワードに、ごみの減量
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市民の快適な生活環境を維持するため、ごみ・資源物の収集を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
一般家庭から排出される可燃ごみ、不燃ごみの収集を実施する。
1 収集業務割合 委託 92% 直営 8%
2 ごみステーション数 2,740カ所
3 区分別に収集するごみステーション数
(1) 可燃ごみ 2,563カ所
(2) 容器包装プラスチック 1,762カ所
(3) 破碎・埋立ごみ 1,753カ所
(4) 資源物 1,148カ所

＜現状に対する認識＞
・過去5年間ごみ排出量は減少となっているが、減量割合が鈍化してきているため、生ごみの水切りや、排出抑制の促進を図る。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	家庭系ごみ収集量(t)				
目標値	33,583				
実績値	39,709				
達成度	118.2%				
② 成果指標(指標名)	家庭系ごみの1人の1日当たりのごみ排出量(g)				
目標値	385				
実績値	458				
達成度	119.0%				

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	328,881				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	328,881				
② 人件費(千円)	113,871	人工	人工	人工	人工
正規	110,736	14.4			
嘱託	3,135	1.1			
合計コスト①+②	442,752				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます	
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み	〇「もったいない」をキーワードに、ごみの減量			
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標				
—	—	—	松本版総合戦略				

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化するため、ごみ減量を推進するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
資源物を出しやすい環境を整備し、資源物回収を促進する。
1 松本市リサイクルセンター運営
2 紙類常設回収場所の設置 32カ所
3 集団回収場所 15カ所

＜現状に対する認識＞
・民間事業者による24時間対応した資源物回収ボックスの設置が増えたことにより、資源物(特に紙類)の減量が目立つ。
・資源物の回収による売却益により町会へ補助金を支出しているが、年々、町会への補助金額が減少している。

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	資源物回収量(t)				
目標値	23,669				
実績値	10,774				
達成度	45.5%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	183,882					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	183,882					
② 人件費(千円)	26,888	人工	人工	人工	人工	
正規	24,608	3.2				
嘱託	2,280	0.8				
合計コスト①+②	210,770					
前年度比	—					



事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	塵芥埋立処理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます	
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み	〇「もったいない」をキーワードに、ごみの減量			
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	塵芥埋立処理費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
最終処分場の周辺の環境負荷の軽減及び最終処分場の延命化を図るため、焼却灰と集塵灰の資源化及び市外の最終処分場へ処分を委託するもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

可燃ごみの焼却灰及び集塵灰を資源化等により委託処理を行う。

1 焼却灰  
 (1) 資源化  
 ア 人口砂化(埼玉) 1,100t  
 イ 溶融金属回収(名古屋) 150t

2 集塵灰  
 (1) 資源化  
 ア 人口砂化(埼玉) 500t  
 イ 溶融金属回収(名古屋) 150t  
 (2) 最終処分(三重・秋田) 3,150t

<現状に対する認識>

・エコピア山田の焼却灰埋立区画の残余年数が9年となっている。  
 ・また、市外への埋立委託の割合が高く、資源化に比べ排出者責任が残る問題がある。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	灰資源化量(t)					
	目標値	1,900				
	実績値	1,950				
	達成度	102.6%				
② 成果指標(指標名)	灰埋立量(t)					
	目標値	3,150				
	実績値	3,028				
	達成度	96.1%				

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	293,939				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	293,939			
② 人件費(千円)	29,566	人工	人工	人工	人工
	正規	26,146	3.4		
	嘱託	3,420	1.2		
合計コスト①+②	323,505				
前年度比	—				

